



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場取引所 大

上場会社名 サンコール株式会社  
コード番号 5985 URL <http://www.suncall.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田茂次  
問合せ先責任者 (役職名) 業務・管理部門長 (氏名) 和田英夫

TEL 075-881-5280

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	25,074	22.2	2,286	61.4	2,089	43.6	1,194	47.9
22年3月期第3四半期	20,517	△19.1	1,416	△10.4	1,455	4.0	808	△2.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	36.99	36.77
22年3月期第3四半期	24.25	24.13

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	33,776	24,937	73.5	784.97
22年3月期	34,267	24,810	72.1	757.55

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 24,819百万円 22年3月期 24,711百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	3.00	—	12.00	15.00
23年3月期	—	7.00	—		
23年3月期 (予想)				8.00	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	7.7	2,300	13.6	2,200	2.4	1,500	25.5	45.99

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 34,057,923株 22年3月期 34,057,923株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 2,439,574株 22年3月期 1,437,701株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 32,300,276株 22年3月期3Q 33,327,651株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. 補足情報 .....	9
(1) 製品区分別の売上業績 .....	9
(2) 海外売上高 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### ① 全般的概況

[経済及び事業環境]

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各国政府による景気対策等の効果により回復の兆しが見られるようになり一時の最悪期を脱しましたが、輸出や生産活動の停滞感が強まり、急速な円高も重なり景気改善のテンポは鈍化しました。米国経済は緩やかに回復しているものの自律回復力が乏しく、景気減速が懸念される状態です。欧州経済も緩やかに回復していますが、財政問題が再燃しユーロ加盟国間での格差が一段と拡大しました。アジアでは旺盛な内需を中心に依然高水準な経済成長が続いていますが、中国ではインフレ上昇懸念拡大から金融引き締め動きが強まったこともあり減速傾向になりました。

このような環境の中で当社グループは、コアである精密塑性加工技術と素材から加工品までの一貫生産メーカーとしての特長を活かしながら、需要に見合った生産体制の構築や原価低減、経費削減などに注力し、部品メーカーとしてお客様の要求品質と供給責任を全うすべく努力してまいりました。

[連結業績]

当社グループの売上高は、第3四半期に入り景気改善のテンポが鈍化しましたが、当四半期連結累計期間では回復基調にあることから250億74百万円（前年同期比22.2%増）となりました。

利益面につきましては、円高の影響などマイナス要因もありましたが売上増により、営業利益、経常利益、四半期純利益は、それぞれ22億86百万円（前年同期比61.4%増）、20億89百万円（前年同期比43.6%増）、11億94百万円（前年同期比47.9%増）となりました。

#### ② セグメント別の業績

[日本]

当社は自動車関連の機能材料及び機能部品は景気対策を受けて好調に推移してきましたが、第3四半期ではエコカー補助金終了の反動により、そのテンポは緩やかになってしまいました。HDD用サスペンションは回復基調になりましたが、円高の影響もあり利益面では苦戦を強いられています。国内子会社につきましても回復のテンポが緩やかになりました。結果として売上高は203億66百万円、セグメント利益は23億57百万円となりました。

[米国]

米国子会社の光通信用部品については市場の回復を背景に拡販活動を続けており売上を伸ばしました。自動車関連精密部品は黒字基調に回復してきています。結果として売上高は16億98百万円、セグメント損失は13百万円となりました。

[アジア]

プリンター関連部品は香港子会社において新規量産が開始となり、ベトナム及びタイの子会社でも好調を維持しました。自動車関連精密部品はタイ子会社では好調に推移しました。一方、中国子会社では売上は前年同期に比べ上回りましたが、人件費上昇などのコスト増をカバーできるには至りませんでした。結果として、売上高は51億70百万円、セグメント利益は3億57百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産・負債・純資産の状況

[資産]

総資産は、337億76百万円（前連結会計年度末比4億91百万円減）となりました。これは、受取手形及び売掛金が6億40百万円増加したものの、自己株式の取得による支出や配当金の支払等により現金及び預金が11億82百万円減少したこと等によるものです。

[負債]

負債は、88億38百万円（前連結会計年度末比6億18百万円減）となりました。これは、主に未払法人税等が4億36百万円減少したことによるものです。

[純資産]

純資産は、249億37百万円（前連結会計年度末比1億27百万円増）となりました。これは自己株式（控除科目）が買付け等により3億72百万円増加した一方で、利益剰余金が5億80百万円増加したこと等によるものです。

## ②キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、67億31百万円（前連結会計年度末比12億32百万円減）となりました。

### [営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によるキャッシュ・フローは、17億46百万円の収入（前年同期間比17億51百万円減）となりました。これは税金等調整前四半期純利益（18億70百万円）や減価償却費（18億19百万円）等の増加要因に対し、売上債権の増加（7億69百万円）や法人税等の支払額（10億79百万円）等の減少要因があったことによるものであります。

### [投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、19億69百万円の支出（前年同期間は9億30百万円の支出）となりました。これは、主に固定資産の取得による支出（19億32百万円）があったことによります。

### [財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、9億47百万円の支出（前年同期間は6億54百万円の支出）となりました。これは、主に配当金の支払（5億74百万円）と自己株式の取得による支出（3億72百万円）があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の業績は、前年同期に比べ回復していますが、そのテンポにブレーキがかかってしまいました。第4四半期も円高基調が続くことに加え、エコカー補助金終了による自動車販売台数の減少や新興国の景気減速等、当社を取り巻く環境が厳しい状況になる懸念があります。当社は引き続き原価低減活動を推し進めてこれら影響を最小限にする努力をしております。これらの状況に基づき、平成22年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想を変更していません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理の概要

#### 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

この変更による損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,884	8,066
受取手形及び売掛金	7,832	7,192
商品及び製品	1,166	1,021
仕掛品	1,177	1,219
原材料及び貯蔵品	1,120	917
その他	526	444
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	18,705	18,860
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,450	3,625
機械装置及び運搬具（純額）	5,249	5,221
その他（純額）	2,629	2,645
有形固定資産合計	11,329	11,492
無形固定資産		
投資その他の資産	182	173
投資有価証券	3,181	3,285
その他	378	455
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	3,558	3,740
固定資産合計	15,070	15,407
資産合計	33,776	34,267
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,573	4,461
短期借入金	522	411
未払法人税等	267	703
役員賞与引当金	17	—
賞与引当金	199	361
その他	2,288	2,377
流動負債合計	7,868	8,314
固定負債		
長期借入金	35	88
退職給付引当金	520	451
その他	413	602
固定負債合計	969	1,142
負債合計	8,838	9,457

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,742	2,742
利益剰余金	17,456	16,876
自己株式	△932	△560
株主資本合計	24,075	23,867
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,295	1,358
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△552	△514
評価・換算差額等合計	744	843
新株予約権	117	98
純資産合計	24,937	24,810
負債純資産合計	33,776	34,267

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	20,517	25,074
売上原価	16,661	20,131
売上総利益	3,856	4,942
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	434	523
報酬及び給料手当	642	674
役員賞与引当金繰入額	16	17
賞与引当金繰入額	38	34
退職給付費用	73	77
貸倒引当金繰入額	4	—
その他	1,231	1,328
販売費及び一般管理費合計	2,440	2,656
営業利益	1,416	2,286
営業外収益		
受取配当金	42	51
物品売却益	36	57
その他	63	33
営業外収益合計	142	142
営業外費用		
為替差損	76	319
その他	27	19
営業外費用合計	103	339
経常利益	1,455	2,089
特別利益		
固定資産売却益	0	3
有価証券売却益	15	—
特別利益合計	16	3
特別損失		
固定資産廃棄損	14	16
関係会社清算損	—	161
退職給付費用	—	43
その他	2	0
特別損失合計	16	222
税金等調整前四半期純利益	1,454	1,870
法人税、住民税及び事業税	437	663
法人税等調整額	209	12
法人税等合計	646	675
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,194
四半期純利益	808	1,194



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,454	1,870
減価償却費	1,785	1,819
引当金の増減額 (△は減少)	△49	△72
受取利息及び受取配当金	△49	△60
支払利息	19	15
固定資産売却損益 (△は益)	1	△3
固定資産廃棄損	14	16
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,143	△769
たな卸資産の増減額 (△は増加)	580	△375
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,306	212
その他	468	94
小計	3,388	2,748
利息及び配当金の受取額	49	61
利息の支払額	△19	△14
法人税等の支払額	△203	△1,079
法人税等の還付額	282	30
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,497	1,746
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△886	△1,932
固定資産の売却による収入	3	5
投資有価証券の売却による収入	40	—
貸付金の回収による収入	15	8
定期預金の預入による支出	△102	△152
定期預金の払戻による収入	2	102
その他	△3	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△930	△1,969
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	41	146
長期借入金の返済による支出	△52	△53
配当金の支払額	△217	△574
自己株式の取得による支出	△352	△372
自己株式の処分による収入	0	0
リース債務の返済による支出	△74	△93
財務活動によるキャッシュ・フロー	△654	△947
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△61
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,904	△1,232
現金及び現金同等物の期首残高	4,730	7,964
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,634	6,731

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 報告セグメントの概要

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年12月31日）

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象としております。

当社は、主に「精密加工金属製品・関連品」を生産・販売しており、国内においては当社及び子会社2社が、海外においては米国及びアジア（主に中国、ベトナム、タイ）の各地域の現地法人がそれぞれ担当しております。

現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品については各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」及び「アジア」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントでは、「精密加工金属製品・関連品」のほかに、「その他製品」を生産・販売しております。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	米国	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	18,752	1,697	4,624	25,074	—	25,074
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,614	1	546	2,162	△2,162	—
計	20,366	1,698	5,170	27,236	△2,162	25,074
セグメント利益又は損失	2,357	△13	357	2,701	△415	2,286

(注) 1. セグメント利益の調整額△415百万円には、セグメント間取引消去19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△434百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 製品区分別の売上業績

製品区分の名称	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減	
	自平成21年4月1日 至平成21年12月31日		自平成22年4月1日 至平成22年12月31日			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密機能材料	2,232	10.9	2,661	10.6	428	19.2
精密機能部品	11,953	58.3	14,082	56.2	2,128	17.8
サスペンション	2,887	14.1	3,454	13.8	567	19.7
プリンター関連	1,982	9.7	2,955	11.8	973	49.1
デジトロ精密部品	1,374	6.7	1,783	7.1	408	29.7
その他製品	86	0.4	135	0.5	49	57.7
合計	20,517	100.0	25,074	100.0	4,556	22.2

##### [精密機能材料]

エンジン用途の精密異形材及び弁ばね用線の販売は好調を維持しましたが、その他で回復のテンポが減速したことにより26億61百万円（前年同期比19.2%増）となりました。

##### [精密機能部品]

弁ばね、エンジンスターター用リングギアやミッション用精密ばねを中心に全体的に回復してきましたが、エコカー補助金打ち切りの影響もあり、140億82百万円（前年同期比17.8%増）と減速しました。

##### [サスペンション]

パソコン需要の回復や量産品立上げにより、34億54百万円（前年同期比19.7%増）となりました。

##### [プリンター関連]

軽量タイプのローラーが量産開始となり、またチューブローラーが引き続き好調だったことにより、29億55百万円（前年同期比49.1%増）となりました。

##### [デジトロ精密部品]

主に光通信用部品の売上回復により、17億83百万円（前年同期比29.7%増）となりました。

(2) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）

	北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,430	765	6,092	99	8,388
II 連結売上高（百万円）					20,517
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	7.0	3.7	29.7	0.5	40.9

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年12月31日）

	北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	2,235	529	8,393	123	11,282
II 連結売上高（百万円）					25,074
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	8.9	2.1	33.5	0.5	45.0

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北アメリカ……アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ

(2) ヨーロッパ……ドイツ、スイス、オランダ

(3) アジア……中国、韓国、タイ、ベトナム、インドネシア

(4) その他の地域……ブラジル

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。